

辻堂地区全体集会
社会貢献活動実習テーマ
「辻堂の一員になろう！防災活動センター」

湘南工科大学工学部機械工学科

片桐 来夢

報告内容

1. 活動内容
2. 自分の実習目標
3. 学び考えたこと
4. 活動の成果
5. 私の考えた課題
6. 課題解決に向けて
7. 考察

1.活動内容

1. 防災リーダー講習会
2. Team Rescueでの活動
3. 上記活動の企画・準備活動 等



津波避難訓練
地区防災拠点会議
Team Rescue 災害体験
防災リーダー講習会1 講話・防災機材取扱訓練
Team Rescue 消防出張所見学
防災リーダー講習会2 避難所運営ゲーム
Team Rescue 辻堂街歩き
防災リーダー講習会3 救急救命講習
Team Rescue 家具転倒防止訓練
辻堂地区総合防災訓練

2. 実習目標

知識と実習を通して防災の知識を深める

そのために心がけたこと

- 常に疑問点を探しながら実習に取り組み質問をする。
- 積極的に体験して覚え、また想像との違いに気付く。

3. 学び考えた事

- ▶ 防災は実際に体験すると新たな気づきや認識の甘さに気付くため、知識を身に着けた状態で実習を行うことが大切である。

例：災害体験

- 消化体験
- 地震体験
- 暴風体験
- 煙避難体験



震度7まで体験。
私の想像より遥かに強く、認識の
甘さを痛感した。



4.活動の成果

- ▶ 災害の威力と脅威は体感しないと理解できるものではなく、知識だけでは足りないことを痛感した。
- ▶ 私は防災については無知であったので、まずは防災とは何か知ることから始まった。私のために防災についての知識をことある毎に解説してくださったので、知識を深める事が出来た。
- ▶ 災害を無くすことは不可能なので、被害を最小限にする(減災)ための対策をすることが大切だと知った。

5.私が考えた課題点

防災活動に対しての興味関心を
広めていく必要がある。

- ▶ 防災活動が防災関係者に限定してしまっている
(私が参加させていただいたイベントは関係者向けの物が多かった)
- ▶ 家族間で災害時の対応や避難経路等の確認が取れているのか

6.課題解決に向けて まちの子供達を活用したい

▶ 周囲の人を巻き込む様な取り組みを行う

例

1. 授業参観時に防災についての授業を行う

2. 講演会を保護者参加可で行う

3. 家族で防災について考える課題を出す

▶ 現状の問題点を挙げ、解決策等を議論する会を開催する

学校を利用した活動はPTA、教育委員会等が関わってくるため、私が提案する活動には限度があると思うが、可能な限り展開出来たら良いと思う。

5. 考察

- ▶ 防災の改良は日々模索されている事項であるため、多くの人々が現状を見つめて提案する事が発展に必要なだと感じた。
- ▶ 何事にも理論で満足せず、実験・実習を行う事が重要であると強く認識した。
- ▶ 関係者で終わらず可能な限り周囲の人間を巻き込んでいき、防災について考えるきっかけを与える事が大切だと思う。